

中期事業計画（2012年度～2014年度）

1. 清算機関としての機能強化

(1) リスク管理態勢の強化

- ・ CPSS/IOSCO から公表される「金融市場インフラのための原則」など、清算機関に関する国際的な基準強化の動きを踏まえ、リスク管理機能の高度化を図る。

(2) 環境変化や参加者ニーズへの対応

- ・ 新日銀ネットの構築（2015年予定）にあわせ、参加者の視点に立ち利便性に優れたサービスを提供する。
- ・ 国債取引の決済期間短縮に向け清算機関として積極的な提言を行い、制度面・システム面での対応を行う。

(3) 利用拡大

- ・ 資産管理専門信託銀行の参加を実現させる（2014年前半予定）など当社の利用拡大を図ることで、国債取引における効率性の向上及び決済リスクの削減を目指す。

2. 事業基盤の強化

(1) ガバナンス

- ・ 清算機関としてのガバナンスのあり方について、国際的な議論も視野に入れた検討を進め、事業基盤の強化を図る。
- ・ 積極的な情報開示により経営の透明性を高める。

(2) システム基盤

- ・ システムの信頼性を確保するため、より頑健なインフラの構築及び災害時・システム障害時の対応力の向上を図るとともに、システムの柔軟性を高めて円滑なサービスの提供を図る。

(3) 組織運営

- ・ 市場関係者との協働・連携により、金融・資本市場の制度整備に向けた取組みを推進する。
- ・ 日本証券クリアリング機構との連携による業務運営の一層の効率化等を進める。
- ・ 教育・研修制度をはじめとした人事制度の改善により、人材の確保と専門的知識・技能の向上及び蓄積を図る。